

社会科授業が楽しくなる！  
デジタル地図活用のすすめ

## デジタル地図帳で変わる 社会科授業～6年生「日本と つながりの深い国々」を例に

東京都小学校教諭

### 1 デジタル地図帳で変わる

#### 資料図や統計資料の読み取り

社会科の学習では、さまざまな資料図や統計資料を授業の中で活用します。いずれも必要な情報を読み取るうえで重要な資料ですが、情報量が多く読み取りが難しいと感じている児童も少なくありません。また、指導者からは、写真資料などと違って、そのまま提示しても児童の反応が今ひとつよくないなどの声が聞かれます。デジタル地図帳は、こうした児童や指導者の抱える悩みを解決する一助となります。とはいえ、デジタル地図帳は万能ではありません。すべての場面で活用しようとしても無理があるでしょう。ポイントはデジタル地図帳でしかできない提示方法を、場面にに応じて適切に活用することです。

今回は、6年生の国際理解の学習を例にし、デジタル地図帳を用いた資料図や統計資料の効果的な提示方法についてご紹介します。

### 2 最も効果的な場面で活用する

6年生の国際理解の単元では、日本と結びつきの深い国について、追究する視点を設定し、調べる活動を展開していきます。多様な資料を活用して調べる活動は、小学校の社会科の集大成ともいえ、中学校での地理的分野の学習につながる大切なものです。自分たちで調べる国を決め、さまざまな資料を活用して主体的に調べる活動は、児童にとって楽しいものです。ただ、この単元では、資料図や統計資料が多く登場しますので、資料の読み取りを苦手とする児童のためにも丁寧な指導が必要です。以下に示した指導計画は、読み取りを苦手とする児童もスムーズに学習を進めること

ができるように、単元の導入ではアメリカ合衆国を学級全体で調べ、その後、各自が調べる国を選択する流れとしました。デジタル地図帳は、アメリカ合衆国の生活や文化、貿易のようすを学級全体で調べる際にも活用していきます。

#### 「日本とつながりの深い国々」全7時間

##### おもな学習活動 (①～⑦)

- ① アメリカ合衆国を例に、身のまわりの生活のなかでつながりを感じることができるものを見つける。
- ② アメリカ合衆国との生活や文化のようす、日本との貿易について、各種資料を用いて調べる。
- ③ 日本と結びつきの深い国々について調べる学習問題を設定し、調べる視点を整理し学習計画を立てる。
- ④⑤ さまざまな資料を活用して、調べたい国について調べる。
- ⑥ 調べてわかったことを発表し合う。
- ⑦ 調べたことをもとに、外国の人々とともに生きていくために大切なことを考え話し合う。

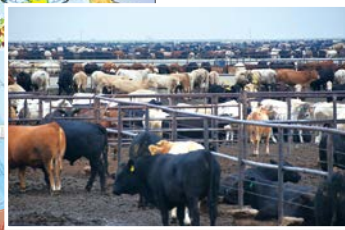
※ゴシック箇所はデジタル地図帳活用場面

### 3 拡大機能と2画面表示で

#### 貿易のつながりを確実に読み取らせる

第2時では、アメリカ合衆国の人々の生活のようすやアメリカ合衆国と日本の貿易のつながりなどについて調べます。アメリカ合衆国との貿易面のつながりをとらえさせる際は、p.71にあるような資料図が有効です。資料図から児童は、日本がアメリカ合衆国と貿易を通してつながっていることをとらえます。しかし、もともとこの資料図は、日本と世界のさまざまな国々の貿易のようすをとらえさせる資料ですから、資料図のなかにはさまざまな情報が記載されています。今回は、「アメリカ合衆国と日本の貿易のつながり」を読み取ら

\* デジタル地図帳は、27年度用『帝国書院 デジタル教科書 楽しく学ぶ小学生の地図帳』をさしています。



アメリカ合衆国（テキサス州北西部）の牛の農場（大規模な肥育場）のようす（撮影：帝国書院）

●帝国書院のウェブサイトの「写真館」には、授業で使える日本・世界のさまざまな写真を掲載しています。

マイリンク機能を使用しているの画面 デジタル地図帳『楽しく学ぶ小学生の地図帳』p.61

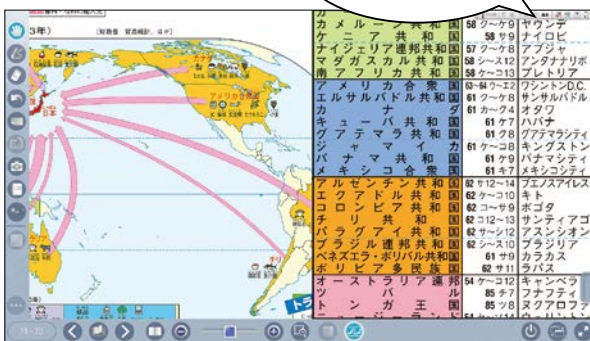
#### 4 マイリンク機能でアメリカ合衆国についてのイメージをふくらませる

p.71の資料図で、日本とアメリカ合衆国との貿易のつながりについて大まかにとらえたあとは、アメリカ合衆国でどのようなものが生産されているのかをp.61の北アメリカの地図から読み取るとよいでしょう。ただ、国際理解の單元では、貿易面のつながりだけでなくその国の人々の生活のようすについてもとらえさせることが大切です。ここでは、生産物を読み取らせると同時に、アメリカ合衆国の人々の生活のようすについてもイメージをふくらませたいと思います。生産物や生活のようすについてのイメージをふくらませるには、視覚的にわかりやすい写真などが適切ですが、地図帳にはわずかにイラストが掲載されているだけで、写真は掲載されていません。そこで活用したいのが、デジタル地図帳の「マイリンク機能」です。この機能は、地図上にピンを置いておき、このピンをクリックすれば設定したリンク先の情報を自動的に提示できるものです。例えば、アメリカ合衆国の牛肉の生産についてのイメージをふくらませたい場合、広大な農場や放牧のようすを表す写真をパソコン内に保存しておき、ピンをクリックすることでその写真を画面上に提示することができます。事前にアメリカ合衆国の生産物や生活のようすを表す写真を複数準備し、地図上のピンとリンクさせておくことで、視覚的にもわかりやすく生産物や生活のようすをとらえさせることができます。

せることが目的ですので、資料図の全体をはじめに提示したあとに、徐々に提示する情報をしぼり込むとよいでしょう。デジタル地図帳は、見せたい場所だけを選択し拡大して提示することができます。情報をしぼり込むことで、日本とアメリカ合衆国との結びつきに焦点をあて、必要な情報を確実に読み取らせることができます。

資料図で読み取ったあとは、p.75の国別統計で具体的な数値や品目を確認するとよいでしょう。このとき、便利なのが「2画面表示機能」です。通常の地図帳では、ページが離れているため、同時に確認することは難しいですが、2画面表示機能を活用することで、資料図のとなりに国別統計資料を提示し、資料図から読み取った内容をすぐに確かめることができます。

表をスクロールさせると日本への輸出総額とおもな輸出品がわかる



2画面表示で資料図と統計資料を同時に示している画面  
デジタル地図帳『楽しく学ぶ小学生の地図帳』

資料図 p.71②日本のおもな輸入相手国・地域とおもな輸入品  
統計 p.75世界の国別統計